

令和2年度 第1回 出雲市介護保険運営協議会（書面会議）での意見

番号	資料 番号	意見項目
1	8	<p>①アンケート結果から、20本以下の残存歯の方が、6割いるにもかかわらず、7割は食べにくさを感じていない。これは自分では気がつかないうちに食べられるものだけを食べて、低栄養につながっていると考えられる。歯の本数や、口腔機能に合わせた食事の仕方、栄養バランスの見直しなど教育機会が必要ではないか。</p> <p>②出雲市歯周病検診や、後期高齢者歯科口腔健診などを通じての啓発を行い、残存歯の増加、8020達成者の増加を。</p>
2	3	<p>①各地域の特徴を生かした地域づくり（住民の力を引き出す支援）につながる働きかけを行うことが必要。「介護予防と健康づくりを一体化」する表現があるとよい。</p> <p>②地域包括ケアシステムについての市民の認識を深める働きかけが必要。</p> <p>③【見直しの理由】については、各調査結果に基づくものであり、妥当な理由と考える。</p>
3	1 8 9	<p>①地域ケア会議を行うことで困難事例への対応について、ケアマネジャーだけでなく他職種の専門職の意見を交換する機会となり有効的なものと思う。</p> <p>施設へ訪問する介護相談員について、新型コロナウイルス感染症防止対策により実施できないところだが、何らかの形で継続してほしい。</p> <p>②独居や65歳以上の高齢者夫婦世帯が45%と高く、今後はその状況を踏まえた現状把握とサービスの多様性を考える必要がある。</p> <p>③在宅生活での支援では、入浴介助と排泄介助に負担を感じておられることが改めて分かった。</p>

番号	資料 番号	意見項目
4	1 3 8	<p>①介護職のインタビュー記事は、志すための後押しになっていると思うが、高校生以外の一般の方にどれだけ目に付くのか。アクセスに繋がるのか。周知が必要と感じる。</p> <p>②第8期計画の目標「安心して自分らしい生活が継続」の解釈として、介護(サービス)に関する選択肢が多様であることが必要である。出雲市独自事業も含め評価をしながら計画してほしい。</p> <p>③社会参加(ボランティア、グループ活動等)していない方が多いのが気になる。なぜだろうか。</p>
5	2、3	<p>近年75歳以上後期高齢者の見守りの方が増えている。特に独居の方の病気の対応。体調不良となっても、介護認定を受ける決断をするまでに不安や、悩みを抱えながら生活している。</p> <p>現在、実施されている高齢者独居世帯等への緊急通報装置の設置費助成は不安解消に一翼を担っている。在宅で安心な生活が送られるよう、さらに周知を図っていただきたい。</p>
6	2、3	<p>「健康づくりは仲間づくり」平凡でも愉快的な人生が送られる社会をめざしていく。</p>

【事務局】

これらのご意見を参考とし、今後の本協議会や各部会で協議していきます。